

平成26年度事務事業評価シート					取組みコード	41513
区分	補助金・交付金		担当課	生涯学習課	作成日	平成26年5月16日
事業名	成人式実行委員会負担金		開始年度	平成10年度	予算科目	9.4.2.7.1

1. 事業の概要

総合計画での位置づけ			
部	第4部 豊かな人間性を育む文化のまちづくり	章	第1章 生涯を通じて学ぶ体制づくり
節	第5節 青少年の健全育成	基本施策	1 青少年活動の推進
取組みの基本方向 (3)体験学習や自主的なスポーツ・文化活動、ボランティア活動など、青少年の社会参加活動を促進します。			
根拠法令等			
目的 (誰・何を対象に、何のために)	成人式実行委員を新成人より公募し、自主的な企画や実施に関わっていただくことで、新成人の大人としての自覚を促すとともに、未来をたくましく生き抜く力を養い、本町発展の活力とする。		
内容・方法 (何を行っているのか)	成人式実行委員会に対し負担金を支出する。 なお、成人式は町・教育委員会・成人式実行委員会が共同で主催し、成人式実行委員会が実施主体となって、第1部：式典、第2部：アトラクション（恩師メッセージ、スライドショー、抽選会、記念写真撮影）の2部構成で実施している。		

2. 指標(事業の成果・活動内容等を数字で表します)

本事業が属する総合計画の節の成果指標	指標名		平成21年度	平成28年度			
	『青少年の健全育成』について「満足」と感じる住民の割合		33.5%	39.0%			
(A)総合計画の節の目標を達成するため本事業に求められる成果			新成人の豊かな人間性と自主性、社会性を養う。				
(A)の成果をあげられているか測るための指標(成果指標)	増減	指標の説明	項目	基準年度(H23年度)	平成24年度	平成25年度	平成26年度
成人式への参加率	増	多くの新成人が、同級生が企画・実行する成人式に参加することが、大人としての自覚につながる	計画値		75.0	75.0	75.0
			実績値	84.8	76.1	74.5	
			達成度※自動計算		101.5	99.3	0.0
(B)成果指標の目標を達成するため本事業において町が行う活動			実行委員会への職員の派遣				
(B)の活動状況を測るための指標(活動指標)	増減	指標の説明	項目		平成24年度	平成25年度	平成26年度
実行委員会への職員の派遣回数	増	実行委員会の活動を充実するため、助言や情報提供を行う職員を派遣する	計画値		7.0	7.0	7.0
			実績値		7.0	7.0	
			達成度※自動計算		100.0	100.0	0.0

※ 増減欄は、指標の値について、増加が望ましい場合に「増」、減少が望ましい場合に「減」を記入する。

3. 事業費の推移と財源内訳

				(E) 平均人件費(円/年)	8,300,000
年 度		基準年度(決算)(H23年度)	平成24年度(決算)	平成25年度(決算)	平成26年度(予算)
(A) 事業費(円)		70,000	70,000	70,000	70,000
(B) 概算職員数(人)		0.041	0.041	0.041	0.041
(C) =(B) × (E) 人件費(円) ※自動計算		340,300	340,300	340,300	340,300
(D) =(A) +(C) 総事業費(円) ※自動計算		410,300	410,300	410,300	410,300
単位当たりコスト※自動計算		4,838.4	5,391.6	5,507.4	
財源内訳(円)	特定財源	国庫支出金			
		県支出金			
		地方債			
		その他			
	一般財源※自動計算		410,300	410,300	410,300

4. 事業の項目別評価(分析)

項 目	判定基準	判定 ※一部自動判定	評価 ※自動判定
妥当性 (公費を投入して実施することが妥当な事業か)	法令等で義務付けられた事業である。		A
	民間サービスで同様の事業は実施されていない。市場原理に委ねることができない。	○	
	国や県において同類種の事業が実施されていない。	○	
	事業開始時から事業目的や町民のニーズの変化がない。	○	
	事業・サービスの提供時間帯及び場所は公平に提供されている。	○	
	受益に応じた負担は適正である。	○	
	事業の実施による効果が不特定多数の人に広く及ぶ性質である。	○	
	町民の日常生活に必要な不可欠な事業である。		
	上記のいずれにも当てはまらない。		
有効性 (基準年と比較して成果が上がっているか)	成果指標について平成25年度の目標を達成している	×	C
	基準年度と比較して成果が向上している	×	
効率性 (なるべく費用をかけずに成果を上げているか)	基準年度と比較して費用の縮減ができている (費用の縮減率が成果の向上率以上か)	費用減<成果ダウン	C
有用性 (施策の成果指標の目標達成に貢献しているか)	総合計画の節の目標達成のための本事業の効果	直接的	A
	総合計画の節内での本事業の優先順位	高い	
総合評価 ※自動判定		改善すべき点がある	

5. 特記事項

有効性及び効率性の判定がCとなっているが、平成23年度は特異的に参加率が高かったことによるものである。なお平成22年度の参加率は71.2%、最近10年間は70%台前半から中ごろで推移している。

6. 自己評価(担当課)

評価結果	☒ 現状維持	☐ 拡 充	☐ 改 善	☐ 縮 小	☐ 再 構 築	☐ 廃 止
理由	近年は参加率が上昇傾向にあり、引き続き現状の方式で実行委員会を支援していくことが望ましいため。					
今後の方向性	引き続き、補助金の交付及び実行委員会への適切な助言等に努める。 なお、昨年度の成人式では、一部に壇上に上がるなど騒ぎを起こす成人者がいた。実行委員会への助言指導や、町・教育委員会として対応する部分での改善により、成人と認められる式典として、厳粛な雰囲気の中で挙行できるよう努める。					

7. 1次評価(庁内行政評価委員会)

評価結果	☒ 現状維持	☐ 拡充	☐ 改善	☐ 縮小	☐ 再構築	☐ 廃止
今後の方向性に係る意見等	有効性及び効率性の判定がCとなっているのは、基準年度である平成23年度の参加率が特異的に高かったことによるものであり、中期的な参加率は順調に推移していることから、所管課の方向性のとおり、引き続き実行委員会への支援に努めるものとする。					

8. 2次評価(外部評価:行政改革推進委員会)

評価結果	☐ 現状維持	☐ 拡充	☐ 改善	☐ 縮小	☐ 再構築	☐ 廃止
今後の方向性に係る意見等						

9. 2次評価(実施のない場合は1次評価)を踏まえた対応案(担当課)

引き続き、補助金の交付及び実行委員会への適切な助言等に努めながら、実施形態は現状のまま事業を実施する。式の進行については、式全体の時間短縮や会場の設営方法を再検討し、厳粛な雰囲気の中で挙行できるよう努める。

10. 町の最終方針(行政改革推進本部会議)

評価結果	☒ 現状維持	☐ 拡 充	☐ 改 善	☐ 縮 小	☐ 再 構 築	☐ 廃 止
理由・改善方針	現状のまま引き続き事業を実施する。					